

【会場 平尾小学校（7月19日開催）】 小林小学校・平尾小学校における学校配置の適正化にかかる説明会（ご質問と回答）

〔開催概要〕

・開催日時 令和6年7月19日（金） 19時00分～20時05分

・開催場所 平尾小学校 多目的室

・参加者 地域・保護者の方々 38名

・説明者及び関係者

【大正区役所】 古川 区長、北吉 副区長、前田 こども・教育担当課長、二階 教育施策担当課長代理 外4名

【教育委員会事務局】 山東 学校適正配置担当課長、岡永 学校適正配置担当課長代理、佐野 指導部指導主事

【平尾小学校】 飯塚 校長

【ご質問と回答】

●再編方法について

項番	ご質問	回答
1	小林小学校と平尾小学校が統合されれば、平尾小学校のみから大正中央中学校に登校する形になるのか。人口が減っていく中、大正区全体の中学校の構成など、もっと大きな考え方を持って取り組むべきではないか。	小林小学校と平尾小学校が統合した場合、1小1中という形になります。大正区の児童生徒数は減少傾向にありますが、現在のところは、本日ご説明している以外の学校についての検討は行っておりません。
2	大正区の小学校で12クラスある小学校は3校ぐらいしかなく、12クラスより少ない学校は適正配置の対象ということであれば、大正区のほとんどの学校が該当するのではないか。南恩加島小学校も児童数が少ないが、もしこの適正配置がどんどん進んでいくと、大正区の小学校はほとんど維持できなくなるのではないかと心配しているが、少人数学級でこのまま維持していくという考えはないか。	大阪市では、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合うためには一定の集団規模が必要になるという考えのもと、学校配置の適正化を進めています。子どもたちの教育環境を確保するため、条例に基づき一定の集団規模が必要であると考え、適正規模である12学級から24学級になるよう学校配置の適正化を進めています。 少人数学級については、国において40人学級から35人学級に学級編制を引き下げられているところであり、習熟度別少人数学級授業などは大阪市としても取り組んでいます。 学校配置の適正化については、少人数学級ではなく、小規模すぎる学年、単学級を解消するための取組です。学級内の人数を増減を目的とするものではなく、学年ごとの学級数を増やしていく取組であるということをご理解願います。
3	小林小学校と平尾小学校の統廃合は決定事項なのか。	現在、学校配置の適正化を進めていくにあたり、学校再編整備計画案を作成する段階にあります。今時点では決定事項ではなく、今後、地域や保護者の方々のご意見をお聞きしながら学校再編整備計画案を作成し、皆様にお示しまいります。

●教員の人材確保について

項番	ご質問	回答
4	何年か前に中学受験を目指していた小学校6年生の子がいたが、担任の先生が変わってしまい、非常に困って私に相談があった。子どもの素質を伸ばすことや、父兄、地域の環境づくりは非常に大事だが、そのためには学校の先生方の能力が重要である。優秀な先生方をしっかり確保してほしい。	全国的に教員の数が不足しており、大阪市においても教員不足は深刻な状況です。小林小学校と平尾小学校を統合すると、一定の規模、児童数が保たれるため、学級数、児童数に応じて1校あたりの教員数も増えます。また、財政効果インセンティブ制度を活用した予算で教員の加配を行うことにより、教員がより子どもに向き合う時間を確保できると考えています。 教員の能力について、単学級の場合、例えば新規採用で入り、いきなり学年主任にもなります。先輩教員の指導方法を習うこともままならない状況となるため、教員の育成向上という点においても複数学級以上あることが望ましいと考えています。統合することにより、教員の質も確保し、児童の教育環境の向上につながると考えています。
5	先生方は日々精一杯子どもに向き合っていていただき感謝しているが、平尾小学校が現在落ち着いている状況とは言いがたい。経験豊富な先生やメンタルが強く指導力がある先生を配置してほしい。また、統合してからではなく、統合に伴って先生も子どもも混乱が生じると思うので、ぜひ来年度から小林小も平尾小も整った状態で統合という形に持っていきたく安心だと思ふ。	教員の質の向上は、大阪市においても非常に重要な課題と認識しており、教員の資質向上にも取り組んでいます。財政効果インセンティブ制度を活用することは、統合前からも可能であるため、スクールカウンセラーの配置や教員の加配、通学路の安全対策など、地域、学校と話し合いを行い、活用方法を検討していきます。

●財政効果インセンティブ制度を活用した予算について

項番	ご質問	回答
6	統合によって削減された経費は必ず子どもたちのために使ってほしい。教室について改造工事を行うとのことだが、しっかりお金を使って教室を作ってほしい。	財政効果インセンティブ制度を活用した予算については、教育活動や通学路の安全対策などが充実できるよう検討し、活用していきます。教室改造等については新たに校舎を建てることはなく、統合することによって不足する教室について今ある部屋を教室仕様に改修することで対応します。

●通学路の安全について

項番	ご質問	回答
7	統合後の学校への通学路の安全対策について、「よくある質問」に書かれているが、実際に他で統合された学校の安全対策はどのようなものなのか。	統合後の学校への通学路の安全対策については、統合前に地域、保護者の方と検討会議を立ち上げ、ご意見をお聞きしながら、警察や道路管理者である建設局、区役所、教育委員会と対応を協議します。例えば、歩道がない危険な箇所グリーンラインを引くことで、児童が通るところであると認識できるような安全対策や、必要に応じて交差点の信号等の調整を行い、安全に通学できる取組を行います。

●施設等の改修工事について

項番	ご質問	回答
8	平尾小は建物が古いということもあり、ここ数年ずっと工事している。統合により、また工事が始まると雑音が気になり、子どもたちの教育に影響がある。また、平尾小は屋上へ上がれないので、地震や水害でどのような被害が出るか分からないので改善してほしい。	平尾小学校には平成に入ってから建てられた校舎が多く、比較的新しいので、躯体をいじるような大きな工事はありません。教室改造は、長期休業期間を中心に工事を進めていきたいと考えています。授業期間中に行う必要がある工事は、児童の安全確保を充分考え進めていきます。

●今後のスケジュールについて

項番	ご質問	回答
9	説明資料13ページの「適正化の進め方フロー図」にあるスケジュールについて詳しく説明してほしい。	現在は「適正化の進め方フロー図」の「学校再編に係る検討」の段階にあります。「学校再編整備計画案の作成」については、本年12月頃に説明会を開催し、再編整備計画案をご提示する予定です。その後、学校再編整備計画案を教育委員会議で審議する必要があり、「計画案の上程」は翌年の2月頃を考えています。教育委員会議で議決された計画は公表し、翌年度以降に学校適正配置検討会議を設置することになります。最終的にこの学校配置の適正化については、最短で令和10年4月を目指しています。

●統合後のアンケートについて

項番	ご質問	回答
10	統合後のアンケート結果について、良いことしか書かれておらず、約5割の児童が「これまでより楽しく学校生活を送っている」、「いろんな先生に教えてもらえるのでよかった」ということだが、残りの5割の児童はどうなのか。	先日小林小学校でも同じような質問があり、過去の統合後の児童アンケートの結果を確認したが、例えば鶴町小学校と鶴浜小学校の統合後の児童に聞いたアンケートでは、新しい友達ができたと回答した児童が79%で約8割、学校が賑やかになったという児童も58%で約6割でした。統合するとき心配があったと答えた児童に対し、「その心配はなくなりましたか」と聞いたところ、「心配はなくなった」と回答した児童は57.5%と6割弱だが、「心配は続いている」と答えた児童は4.7%と5%を切っています。「心配はなくなりましたか」という設問の自由意見としては、仲良くなれた、友達ができ、しばらくしてその気持ちが薄れてきた、学校が変わることによって授業の進み方が違うなどの意見でした。